

業務の新聞

第10号

平成29年 11月 24日

エルダー職場で？！

JR 東日本の創生・発展に奮闘された先輩方が、様々なエルダー職場で活躍されています。しかし残念ながら、エルダー受け入れている会社の中には、労働条件・労働環境や勤務体系などが“劣悪”なJR 東日本のグループ会社も存在をします。

なかには『11日間連続勤務?!』を強いる会社もあります。

様々な雇用形態の労働者がひとつの職場で働くのですから、それを管理される方々は『収益・効率・法令』などを考慮し、勤務指定や人員配置を考えているのだと推察しますが、『11日間連続勤務?!』とは如何なものなのでしょうか？文字通りのブラック企業が存在します。

エルダー職場で？！

「JR 時代のことは忘れてください」「とりあえず 1 週間は我慢してください」「その先は」…。

エルダー社員となる先輩がエルダーワークの企業説明会で、JR 東日本から出向している管理者から、耳を疑いたくなるような言葉を聞かされたそうです。

『このような職場に先輩方を行かせたくない！』私は、そのように考えます。しかし現実は「断ったら次が無い…」に象徴されるようにギリギリの選択を余儀されているのです。

「人にやさしい」を、うたい文句にする企業やグループ会社の現実が「理不尽なもの」であってはならないと考えます。

経営側には「社員が会社の制度を活用する」ための準備をシッカリ・キッチリ整えて頂くことを強く望みます。

人件費の減少？！

皆さんご存知のように、JR 東日本の経営は順調に伸びています。

その中で『人件費の減少』が進みバランスシートにも大きな影響を与える数字になっています。一方、業務委託の拡大により『物件費』は、増加しています。

先に述べたエルダー社員制度は、“人件費”と“物件費”的置換えとも言えるものの一翼を担っているのです。企業の経営にとって少子化等々、利益を拡大していくためにクリアする課題は多くあります。

ここで歩を止めて、足元を見つめ直すことが必要ではないでしょうか！労働条件・労働環境・制度・福利厚生などの改善は、働くことでしか生活を営むことが出来ない私たちにとって、看過できませんし、人材確保の面でも重要な役割を果たすことになります。

バランスシートの好調を、私たちにとってもより良い方向にもっていくためにも、職場から“アタック”“アピール”していきましょう。

思いつくまま

JR 東日本は、良い会社でしょうか？ボーナスは一ヶ月分、年休も取れず、連日のサービス残業などという会社に比べれば、“良い会社”なのかもしれません。

座面の破れたイス、破れたままの網戸、草の生い茂る構内、遅れたままの時計、割れた茶わん、湿気もこもるバックヤード等々、あなたの職場にあてはまりませんか？

管理者は見て見ぬふり、聞いても動かず、言うだけ無駄…。でも私たちは、発信し続けます。声のある限り!!